

第 43 回 三浦半島ミニバスケットボール秋季大会 実施要項 (兼 第 44 回神奈川県ミニバスケットボール決勝大会 支部予選会) (兼 U10 横須賀地区交流会)

1、目的及び事業内容

各チーム、個人が地域、県、関東、全国へ繋がる大会に目標をおき経験し、U12 ミニバスケットボールの競技レベルの向上と、より高いチームの結束を目指す。

この大会を通じてプレーヤーまたはそれに携わる人々の心身の成長と、下半期活動の充実を図ることを目的とする。

2、主 催 横須賀バスケットボール協会

3、主 管 (一社)神奈川県バスケットボール協会 U12 部会横須賀地区/横須賀ミニバスケットボール連盟

4、共 催 (一社)神奈川県バスケットボール協会 U12 部会

5、後 援 株式会社モルテン、Photo Shoot、株式会社朝日新聞社、中川スポーツ

6、期日・会場 10月、7、8、14、15、21、22日

11月、3、4、5、11、12、18、19、23、25、26日

12月、2、3、9、10日

メインアリーナ、サブアリーナ、北体育会館、西体育会館、潮風アリーナ

横須賀及び近隣地区の小学校体育館

7、大会ルール JBA発行の「2023 バスケットボール競技規則(ルールブック)」こちらに準ずるものとします。

(1) 競技時間

レギュラー:6分-(1分)-6分-(5分)-6分-(1分)-6分

オープン :5分-(1分)-5分-(5分)-5分-(1分)-5分

オープンの試合については相手チームと協議の上 6 分のゲームに変更ができる。

尚、延長戦の場合は、1 回 3 分の延長時限を必要な回数行い、各延長の前に 2 分間のインターバルをとります(オープンは延長なし)。

(2) 出場

・登録競技者数が 10 人以上のチームは、10 人未満で大会エントリーすることはできない。

・10 人以上で大会エントリーしたチームが、大会当日に 10 人未満のプレーヤー出場となった場合、試合は不成立とする。

・8 人または 9 人で大会エントリーしたチームが、大会当日にエントリー数に満たない人数のプレーヤーしか試合に出場できなかった場合、試合は不成立とする。

(3) ユニフォーム

・シャツとパンツは同じ主となる色でなければならない

・次のものは身に着けても差し支えない

— 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具

— 腕や足のコンプレッションスリーブ

— ヘッドギア。顔の一部(目・鼻・唇等)あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。またヘッドギアは顔や首に開閉

部を持たず、表面に突起物があってはならない。

- 膝の装具
- 負傷した鼻のプロテクター。(硬い素材でつくられたものを含む)
- 無色透明なマウスガード。
- 眼鏡で、ほかのプレーヤーに危険が及ばないもの。
- リストバンドやヘッドギア、最大 10cmの幅で、繊維素材のもの。
- 腕や肩、足などのテーピング。
- 足首の装具。

(4) 人数

- ・全試合 15 人まで出場できる。
- ・ベンチスタッフも、全試合 4 人までベンチ入りできる。

(5) その他

- ・マンツーマンディフェンスの基準規則に則って行う。
(日本バスケットボール協会 HP 参照) http://www.japanbasketball.jp/players_development

8、大会参加資格

- (1) チーム
- ①参加チームは、横須賀ミニバスケットボール連盟(公益財団法人日本バスケットボール協会(以下、「JBA」という)および一般社団法人神奈川県バスケットボール協会)にチーム加盟をする。
* 本連盟の行事を最優先する。
* 一般社団法人神奈川県バスケットボール協会 U12 部会運営細則に準ずる。
- ②大会エントリー
事前配布の『第 43 回秋季大会 参加申込書』に必要事項を記入し、競技:板垣に提出。
各種調査資料として『第 43 回秋季大会 調査表』に必要事項を記入し、競技:板垣に提出。
チャレンジカップエントリー: JBA 公認コーチライセンス D級 以上所持のチーム
フレンドシップカップエントリー: JBA 公認コーチライセンス E級 以上所持のチーム
オープンエントリー: ①、②に関係なくオープンとしての秋季大会エントリーチーム
- (2) 選手
- 選手の個人登録は、横須賀ミニバスケットボール連盟に登録していることが必須であり、公益財団法人日本バスケットボール協会:JBA への登録手続きを完了させることとする。
登録期日は 10 月 31 日とする。
なお、「第 44 回神奈川県決勝大会」に出場可能な新規登録選手の登録期限は 11 月 30 日とする。
移籍登録選手は承認されていても本大会には参加することができない。
- (3) 指導者
- 大会エントリーに必要なコーチライセンス(JBA 公認コーチ)取得の指導者が必ずベンチ入りすること。
* ベンチで指揮を執る指導者は、コーチライセンス(JBA公認コーチ)取得者とする。
*(1)の②の大会エントリーでライセンス階級が異なりますのでご注意ください。
* 試合中は、登録証を必ず携帯すること。
- (4) 帯同審判
- 大会参加チームは、必ず審判ライセンス(JBA公認)E 級以上の取得者が登録されていること。
また、大会中の割り当てについて帯同審判員として活動するものとする。
- (5) MC
- 大会参加チームは、コーチライセンス E 級以上のライセンス取得者が帯同マンツーマンコミッショナーとしての活動をすること。

9、試合方法

- (1) 男女共に、各エントリー別にトーナメント戦もしくはリーグ戦を行う。
- (2) 今大会の上位チームは、次大会のシードチームの参考とする。
- (3) チャレンジカップ・フレンドシップカップ決勝大会出場は、連盟から推薦されたチームとする。
 - * チャレンジカップ 男子:3 チーム、女子:3 チーム
 - * フレンドシップカップ 男子:3 チーム、女子:2 チーム

10、大会実施可否 不足の事態が生じた場合は、大会中止を検討する。

11、大会参加費 1チーム 4,000円

12、オープン参加について

大会参加申し込み時に選手が8人未満、大会参加の希望があるチームを対象に参加し試合を行う。

* 競技 板垣までメールにて必要事項を記入して申し込む。

- (1) チーム構成
 - ①登録選手が5人以上8人未満のチームは原則として単独チームで参加する。
 - ②登録選手が5人未満のチームは、単独チームで参加できないため、合同チームで参加ができる。
 - ③その他、条件を満たせないチームは、競技委員会に申し出て、競技委員会と調整する。
- (2) 試合方法
 - ①オープン参加同士または、レギュラー参加チームと同じブロック内で編成する。
 - ②大会途中に登録選手が8人以上になっても、大会終了まで参加方法は変更することはできない。
 - ③合同チームで参加した場合、大会途中での相手チームの変更はできない。
 - ④大会ルールに準じて行う。ただし、競技時間、5分-(1分)-5分-(5分)-5分-(1分)-5分
競技時間については【レギュラー参加チーム対オープン参加チーム】の際は両チーム相談の上
6分-(1分)-6分-(5分)-6分-(1分)-6分で行うことができる。
交代等は相手チームと相談して行う。
 - ⑤帯同審判、テーブル・オフィシャルは、通常参加チームと同じように割り当てます。

13、表彰 男女共、チャレンジエントリーは4位まで、フレンドエントリーは2位まで表彰する。

14、その他

- ・「チーム表示」を持参する(各チームで試合前に得点板への貼り付け、取り外しを行ってください)。
- ・競技場内での選手のユニフォームの着替えは禁止です。
- ・会場の使用に留意し、火気、清潔、整頓に注意してください。
- ・ベンチ及び応援席では、マスクを外して大声での指示や応援、うちわ等を叩いて応援することはしないでください。
- ・市の体育館において、“競技場内でのスリッパ使用は禁止”となっておりますので、競技場内で応援をする場合は、各自、必ず室内履きをご準備ください。なお、室内履きの基準については、各体育館へお問い合わせください。

15、問い合わせ y-info@yokosukamini.net

競技関係(学校行事、会場)	宮 澤
審判関係(帯同審判、講習会)	鴨 崎
技術関係(コミッショナー)	宮 出
総務関係(選手登録、その他)	菅 田